

【中学校】

※**複数回**：研修効果を高めるため継続的な支援が必要な場合、複数回実施することが可能な講座です。

※所要時間については目安を示しています。詳しくはご相談ください。

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
中-1	特別支援教育	○	○	○	個別の教育支援計画の作成と有効活用 ～作成のポイントと活用の仕方を中心に～
		90分～120分			
中-2	特別支援教育	○	○	○	特別支援学級及び通級指導教室における指導について ～教育課程の編成を中心に～
		90分～120分			
中-3	特別支援教育	○	○	○	自立活動の指導の在り方 ～具体的な指導目標設定に至るまでの過程を大切に～
		90分～120分			
中-4	特別支援教育	○	○	○	発達障害等特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への具体的支援 ～つまずきの背景要因を踏まえた指導・支援の在り方～
		90分～120分			
中-5	特別支援教育	○	○	○	周囲の児童生徒や保護者への理解啓発 ～学級経営や家庭・地域との連携の視点から～
		90分～120分			
中-6	特別支援教育	○	○	○	発達障害の傾向を示す生徒の進路指導及び関係機関との連携 ～生徒の特性に応じた進路選択を進めるために～
		90分～120分			
中-7	教育相談	○		○	カウンセリングの基礎 ～カウンセリングの理論及び傾聴訓練～
		90分～120分			
中-8	教育相談	○		○	構成的グループ・エンカウンターの実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
中-9	教育相談	○		○	ソーシャルスキル教育の実論と実際 ～望ましい人間関係づくりのために～
		90分～120分			
中-10	教育相談	○		○	保護者との関係づくり ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
中-11	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》不登校の予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
中-12	生徒指導・教育相談	○		○	《複数回》いじめの予防と対応 ～基本的な関わり方及び事例研究～
		90分～120分			
中-13	生徒指導	○		○	《複数回》体罰によらない指導の在り方 ～児童生徒とのよりよい関わり方を目指して～
		90分～120分			

番号	分野	講義	研究 協議	演習	内容
		時間の目安			
中-14	道徳	○	○	○	≪複数回≫「特別の教科 道徳」の授業づくり
		90分～120分			～考え、議論する道徳の指導の工夫～
中-15	生徒指導・教育相談	○		○	児童生徒のやる気を引き出すコーチング
		90分～120分			～コーチングの具体的実践を通して～
中-16	教育の情報化	○		○	授業におけるICT機器の効果的活用
		90分～120分			～学校のICT機器等に応じた実技講習会～
中-17	教育の情報化	○		○	学校情報セキュリティの在り方
		90分～120分			～教育情報の管理・運用とセキュリティ対策～
中-18	教育の情報化	○		○	情報モラル教育の進め方
		90分～120分			～SNSや著作権等の理解と対応～
中-19	技術・家庭(技術分野)	○		○	技術・家庭科(技術分野)におけるプログラミングの充実
		90分～120分			～新しい学習指導要領に対応した技術分野のプログラミング学習～
中-20	国語	○	○	○	≪複数回≫主体的・対話的で深い学びの視点からの中学校国語科授業づくり
		90分～180分			～言語活動を充実させ、学びを深める授業改善～
中-21	社会	○	○	○	公民としての資質・能力を育む社会科の授業づくり
		90分～180分			～主体的・対話的で深い学びの視点で進める授業改善～
中-22	数学	○		○	主体的・対話的で深い学びの視点からの数学科授業づくり
		90分～180分			～数学科で育成する資質・能力に向かう授業改善について～
中-23	理科	○	○	○	≪複数回≫主体的・対話的で深い学びの視点からの中学校理科の授業づくり
		90分～180分			～子供が見方・考え方を働かせる理科の学びとは！？～
中-24	美術	○		○	主体的・対話的で深い学びの視点からの美術科授業づくり
		90分～180分			～小学校図画工作科からの系統性を意識した授業改善の工夫～
中-25	人権教育	○		○	人権教育の具体的な実践に向けて
		90分～120分			～人権感覚を高める体験的な学習を通して～
中-26	授業づくり	○	○	○	中学校における授業づくりの基礎・基本
		90分～180分			～学習指導案をもとに授業について議論しよう！～
中-27	授業づくり・言語活動	○		○	全国学力・学習状況調査の活用I 全教科をつなぐ結果分析
		90分～180分			～調査結果の分析から全校で改善すべき重点課題の設定までの手順～

番号	分野	講義	研究協議	演習	内容
		時間の目安			
中-28	授業づくり・言語活動	○		○	全国学力・学習状況調査の活用Ⅱ 全職員で行う授業改善 ～自校の課題を改善するための授業研究の手順～
中-29	アクティブ・ラーニング	○	○	○	各学校における資質・能力の育成を目指して ～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～
中-30	音楽	○	○	○	主体的・創造的な活動を目指す音楽科・芸術科（音楽）の授業の在り方 ～育成する資質・能力を明確にした授業の実践～
中-31	家庭	○		○	生活を工夫し創造する力を育む家庭分野の授業づくり ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～
中-32	外国語	○		○	コミュニケーションを図る資質・能力を育成する外国語科の授業づくり ～複数技能の統合的な活用力を育成する指導の在り方～
中-33	キャリア教育	○	○	○	初めてのキャリア教育 ～「キャリア教育って何？」の声に応えます！～
中-34	生徒指導	○		○	長崎県児童生徒の社会性・規範意識調査（H29）について ～パンフレットやシステムの効果的な活用を通して～ 長崎っ子のいま そして これからの語り合おう